

一本の糸から製品まで

～一貫した企画・販売で最高のサービスを提供～



丸佐株式会社

代表取締役社長

横川 栄一氏

- 住所：岐阜市橋本町2-8 濃飛ニッセイビル 11F・12F
- TEL：058-254-8710
- FAX：058-254-2080
- URL：<http://www.marusa-site.co.jp>
- 事業内容：繊維専門商社(糸綿、紡績糸、織編物、アパレル製品OEM受注生産、等)
- 従業員数：66名

■ 来夏創業120年、会社創立70周年

聞き手：御社の歴史についてお聞かせください。

横川社長：明治29年8月、生糸商「佐久間商店」として創業し、その後人絹糸、合成繊維の取扱いも始めました。丸佐株式会社としては昭和21年に創立し、岐阜地区に立脚する繊維の専門商社として歩み続け、今年で119年目を迎えました。現在は糸、生地、OEM縫製のオペレーション部隊の3部から成り、原綿、加工糸、衣料用織物、カーシート用織物、アパレル製品などを取り扱っています。私自身は、平成25年から社長を務めていますが、岐阜に来るまでは東レ中国に在籍し、上海で5年間OEM縫製に携わって、縫製工場への生地手配、生産販売管理をしていました。その前は香港で2年間、ニットの製品オペレーションをしております。平成22年10月に丸佐の理事として子会社に出向、そこでの社長を経て戻り、現職に就きました。岐阜の現場で2年半、経験を積んだことで、こちらのアパレルを理解することができました。

■ 繊維コンバーター商社として、企画・生産・販売

聞き手：御社の業務内容を教えてください。

横川社長：繊維専門商社として、主にブラックフォーマルや婦人用ボトムなどを扱っており、ボトムは現在、年間300万本ほどを受託生産しています。原綿・原糸・紡績糸事業では、原料となる原綿や原糸の販売をはじめ、高機能繊維を中心とする先染糸や白糸紡績糸の生産、販売を行っています。多種多様な原綿ミックスの高機能衣料用原糸を開発したり、よ

り高い品質が求められる産業用原糸の開発も積極的に行うなど、「ものづくり商社」として事業を広げています。テキスタイル事業では、Made in Japanを意識した高機能・高品質なテキスタイル(生地)の企画・生産・販売を行っているほか、海外でのテキスタイルの開発や提案、生産、販売を行っています。ガーメンツ事業では、ブラックフォーマルやボトムなど婦人衣料を中心に、テキスタイルから縫製まで一貫した企画・生産・販売を行っています。原綿・原糸・紡績糸事業で新商品や新分野の研究や開発を行い、テキスタイル事業でファッション情報を収集し、ガーメンツ事業で先行企画の提案が行えるようなコンバーティング企業になる事を目指しています。原綿を糸に、糸を織物に、織編物を衣料にするなど、商品により高い価値を付加してお客様に提供していきたいと考えます。

■ OEMからODMへ 機能素材部、海外事業戦略部を新設

聞き手：時代の変化とともに、さまざまな取り組みを試みているんですね。

横川社長：まず、今年に入ってから組織改編を実施しました。これまでは営業部は、原料、テキスタイル、アパレル部門と分かれていましたが、企業理念にある「一本の糸から製品まで」をより具現化するために、連携を強化した組織づくりを進めました。機能素材用途関連では、新たに機能素材部を分離・独立させ、原料室と機能テキスタイル室を傘下に置きました。原料室で製造した糸をテキスタイル室で生地に加工するなど、「開発」「生産」「販売」が連携して取り組むことにより、より高度な商品作りが可能になります。同様に、縫製品の部隊の中に、衣料テキスタイル室、企画開発室を組み込み、一貫